

生涯学習推進大綱 骨子（案）

Ⅱ 基本構想（案）

スローガン「わたしたちが自分らしく学び続けられるまち」

全ての市民が生を受けてから生涯を終えるまで、こころ豊かで、生きがいをもって学び続けることができる社会をつくるのが私たち島田市民の願いです。

私たちの目指す生涯学習は、市民一人ひとりが自分らしく学び続けることが基本です。「こころの豊かさ」や「よりよい生きがい」は、人それぞれ異なります。様々な価値観や願いを持った市民が、互いに尊重しあい、思いやり、支えあい、励ましあい、感謝しあい、楽しみながら学び続けることで、より自分らしく豊かな生きがいを感じとることができると考えます。そのような願いを込めてスローガンを「わたしたちが自分らしく学び続けられるまち」としました。

サブスローガン（案）

- ・学びでこころ豊かな私になります。
- ・みんなの学びでこころをつなげます。
- ・こころのつながりで学びを活かし豊かなまちをつくります。

【参考資料】

県内各市町の生涯学習推進大綱の柱（基本目標）

（浜松市）

- ① いつでも、どこでも、だれでも学べる学習環境づくり
- ② 学習成果を適切に生かすことのできる仕組みづくり

（磐田市）

- ① 学習内容の多様化と学習活動の充実
- ② 学習の場の活性化
- ③ 学習基盤の整備

（袋井市）

- ① 学び合う…市民一人ひとりが生きていくための基本的な力を身につけること
- ② つなぎ合う…学習活動を通して人と人、人と地域、世代と世代をつなぐこと
- ③ 生かし合う…学習で得た知識や技能を社会の中で生かすこと

（藤枝市）

- ① 個々の能力を生かして輝くまち
- ② 社会全体が連携して輝くまち
- ③ 心豊かな家庭で輝くまち
- ④ どこでも学べる輝くまち

（静岡市）

- ① 学ぶことで、豊かなわたしになります。
- ② わたしの学びを、みんなの学びにつなげます
- ③ みんなの学びを活かして、豊かなまちを創ります。

（伊豆市）

- ① 生涯学習で進めるまちづくり
- ② 生涯学習で実感する生きがいと学ぶ喜び
- ③ 生涯学習で育むすこやかな心身

現・島田市生涯学習推進大綱	骨子（案）※作業部会での協議結果
<p>Ⅱ 基本構想</p> <p>スローガン「学びあい 育てあい 楽しみあう まち」</p> <p>老若男女の全市民が生を受けてから生涯を終わるまで、心豊かで、生きがいを持って学び続けることができる社会を創出することが私たち島田市民の願いです。</p> <p>私たちの目指す生涯学習は、市民一人ひとりが自分の生きがいに向かって自発的に学び続けることを基本としており、個個人の目指す豊かな生きがいを大事にします。「人生の豊かさ」や「よりよい生きがい」などは、人それぞれに異なり数え切れないほどあるのです。そして、様々な価値観や願いを持った市民が、お互いを尊重し、思いやり、支えあい、励ましあい、研鑽しあい、楽しみながら目標達成を図っていくことで、より豊かに楽しく効果的に生きがいを感じ取ることができるものと考えます。また、このようなことができた暁に「豊かで明るくいいきとしたまち」となるであろうと考えます。そのような願いを込めてスローガンを「<u>学びあい</u> <u>育てあい</u> <u>楽しみあう</u> まち」としました。</p> <p>そして、このスローガンを実現するための核となるサブスローガンを以下のように掲げました。</p> <p>○『<u>人づくり</u>』</p> <p>市民一人ひとりの自立、学び、向上心、心の豊かさなどが相まって、初めて「<u>学びあい</u> <u>育てあい</u> <u>楽しみあう</u> まち」のスローガンが実現します。</p> <p>○『<u>輪づくり</u>』</p> <p>一人ひとりの頑張りや一人ひとりの力が束になり連なることが、大きな力やうねりとなり、スローガンを達成するための原動力となります。</p> <p>○『<u>地域づくり</u>』</p> <p>人づくり、輪づくりを通して、市民一人ひとりが、住んでいる地域の歴史や文化を守り、豊かに発展させて行くことが大切です。</p> <p>○『<u>環境づくり</u>』</p> <p>スローガンを実現するためには、基本的な支援や学習の場の提供、種々の情報交換、リーダーの養成・活用などと共に、その実践状況の検証も必要です。</p>	<p>Ⅱ 基本構想</p> <p>スローガン「<u>わたしたちが自分らしく学び続けられるまち</u>」</p> <p>全ての市民が生を受けてから生涯を終えるまで、<u>こころ豊かで</u>（※1）、<u>生きがいをもって学び続けることができる社会をつくる</u>ことが私たち島田市民の願いです。</p> <p>私たちの目指す生涯学習は、市民一人ひとりが自分らしく学び続けることが基本です。「<u>こころ</u>（※2）の豊かさ」や「<u>よりよい生きがい</u>」は、人それぞれ異なります。様々な価値観や願いを持った市民が、互いに尊重しあい、思いやり、支えあい、励ましあい、感謝しあい、楽しみながら学び続けることで、<u>より自分らしく豊かな生きがいを感じとる</u>（※3）ことができるものと考えます。そのような願いを込めてスローガンを「<u>わたしたちが自分らしく学び続けられるまち</u>（※4）」としました。</p> <p>サブスローガン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びでこころ豊かな私になります。 ・みんなの学びでこころをつなげます。 ・こころのつながりで学びを活かし豊かなまちをつくります。 <p>*****</p> <p>参考：協議内容</p> <p>■1段落目は、『・・・・・・が私たち島田市民の願い』で良いですね？と確認する文章。</p> <p>■※1 <u>心豊かで</u>⇒『<u>こころ</u>』をひらがなにすることで、心臓の『心』というよりも、もっと広い意味での『こころ』のイメージを伝えたい。『<u>こころ豊かで</u>』という表現は、『<u>こころ豊かで学ぶ続けること</u>』そして、『<u>生きがいをもって学び続けること</u>』の2つの学びのことをいう。『<u>こころ豊かで</u>』ということは、<u>こころ豊かな状態にいること</u>なので、『<u>こころ豊かに</u>（豊かな）<u>生きがい</u>』という表現にはしない。<u>こころ豊かであるから生きがいを持てる</u>。</p> <p>■2段落目は、ひとりではできないから、どんなことができるかみんなで考えるという説明。</p> <p>■※2 <u>人生の豊かさ</u>⇒『<u>こころの豊かさ</u>』に修正。『<u>人生の豊かさ</u>』という表現だと、財産があることの豊かさのような印象がある。前文での『<u>こころの豊かさ</u>』を大切にした。</p> <p>■↓※3について、どちらが良いか、検討をしました。</p> <p>協議の結果、案④に決定。『<u>感じとる</u>』という表現は、『<u>感じる</u>』よりも能動的で、自主的にやるということが強調される。</p> <p>案① より自分らしい <u>豊かな</u> <u>生きがいを感じとる</u> 案② より自分らしく <u>豊かに</u> <u>生きがいを感じとる</u> 案③ より自分らしい <u>生きがい</u>を <u>豊かに</u>感じとる ◎案④ より自分らしく <u>豊かな</u> <u>生きがいを感じとる</u></p> <p>■※4 『<u>わたしたちが</u>』と追加。主語をはっきりさせる。『<u>学び続けられるまち</u>』とは、実現できるまちということ。</p> <p>■サブスローガン『<u>人づくり</u>』『<u>輪づくり</u>』『<u>地域づくり</u>』の表現を、主体が自分になるように言い換える。『<u>環境づくり</u>』については、全てに含まれるため、3つのサブスローガン（案）とした。</p>